

地域別意見交換会開催報告

1. 開催概要

目的：事業者や市民に直接対面し、市内の商業振興、商店街の活性化に向けて、具体的意見や要望を聞き、計画策定に資する。

開催日時等：

	北部	中部	南部
開催日時	10月4日（水） 14:30～16:30	10月3日（火） 14:30～16:30	10月4日（水） 10:00～12:00
会場	ポラリス Room2	シリウス 生涯学習センター 610 大会議室	IKOZA 渋谷学習センター 307 会議室
参加人数	8名	14名	11名
実施方法	意見交換形式※2	ワークショップ形式 ※1	ワークショップ形式 ※1

①各会場の参加者が10名以上の場合

※1 ワークショップ形式（5～8人グループを2～3グループ形成）

進行（総合司会）1名 各グループにファシリテーター 1名配置

②各会場の参加者が10名以下の場合

※2 意見交換形式

進行役1名、記録（ホワイトボードに意見を書きまとめる）1名

全体テーマ：事業者・商店街としてありたい姿・なりたい姿

3つのテーマについてディスカッションし、グループでとりまとめを行った。

テーマ1：事業・商店街でうまくいっていること、
困っていることや解決しなければいけないこと

テーマ2：事業・商店街のありたい姿・なりたい姿

テーマ3：ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて必要なこと

① 自分達で取り組むこと

② 市にやってもらいたいこと（要望）

2. 実施内容

北部・中部・南部に共通する特徴

●商店街を取り巻く環境

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、来街者の減少が課題となっている。
- ・店主の高齢化、事業承継が課題
- ・コロナ禍の影響もあるが、事業者間だけでなく、市や住民など、多様な交流機会が望まれている。

●商店会活動

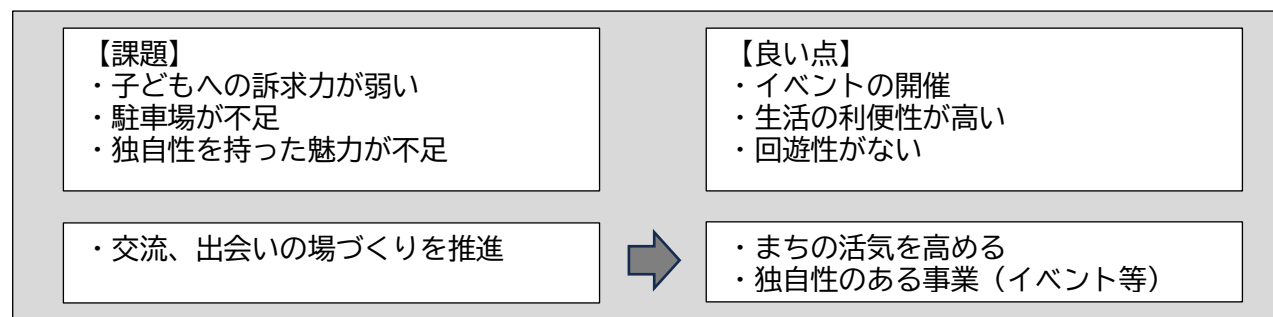
- ・会員数の減少や店主の高齢化などにより、商店街活動の担い手は十分ではない。空き店舗も減少していない。
- ・組織内のつながりは強い傾向が見られ、イベント等の事業も実施している。
- ・交通の利便性は高いが、まちの独自性といった点では弱い面もある中、各商店街がイベント等を開催し魅力づくりに励んでいる。

●今後の展開

- ・多様な主体との交流機会を増やし、賑わいづくりに向けた取組みを推進していく。

(1) 北部地域意見交換会（1グループ）

【北部地域の特性を踏まえた取りまとめ】



【意見交換会で出た意見】

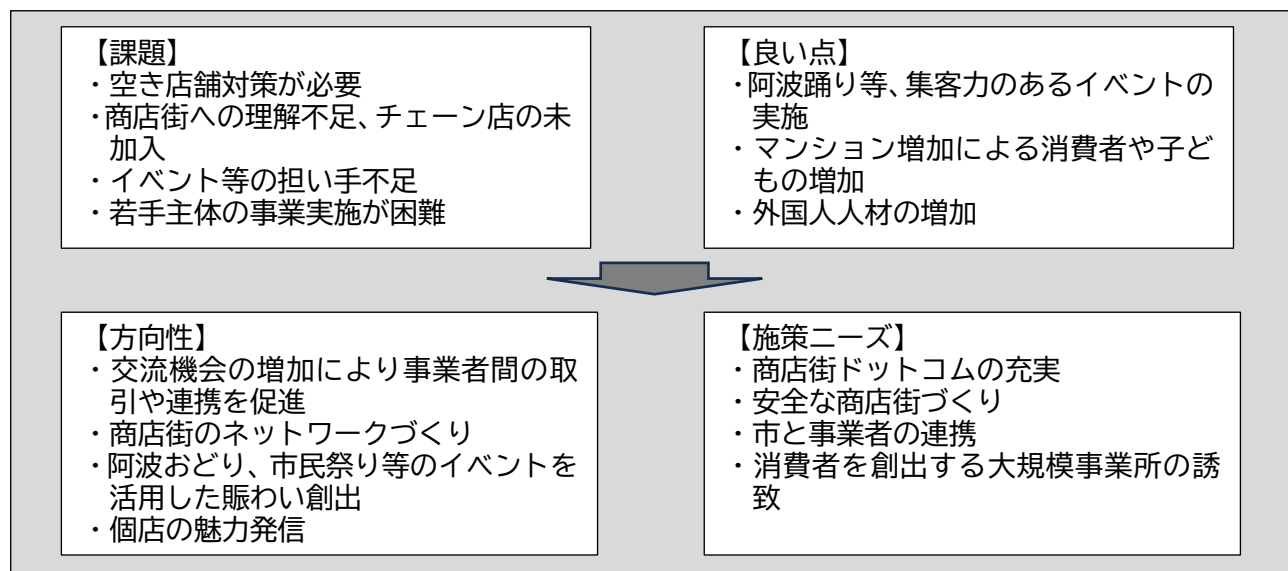
テーマ	意見
事業・商店街でうまく いっていること	●イベント ・協力体制が整っている ・イベントができる横のつながり ・祭りの活気で人が集まってくる ・イベントで中央林間の知名度アップ ・イベントに人がたくさん来るようになった ●商店街関連 ・創業者が増えた ・SNS等の情報の発信 ●利便性 ・区画整理が進んだ ・静かになり生活しやすくなった ・食施設が整っている

	・ マンション増・住民増 ●強み ・ 個性的な店舗が生き残る→チェーン店がいなくなる ・ 名産はないが大和でつくればいい精神 ・ SNS・YouTuber による PR 発信
困っていることや解決しなければいけないこと	●子ども ・ 子どもの活動の場が少ない ・ 子育て世代にサポート ●街の環境 ・ 空き店舗が多くなってきている ・ 駐車場が足りていない ・ 駐輪場が少ない→特にタイガ ●イベント ・ SNS でネガティブな発言 ・ イベントする際、いつも同じ人が動いている→負担の増加 ●商店街・商店会の課題 ・ 大企業が少なく、日中(夜も)街に人がいない ・ イオンに負けない商店街の店舗づくり ・ 商店会会長等の高齢化 ・ 買い回り、流れ、回遊性が不便 ・ 商店街の PR ●弱み ・ 大和の「コレ」がない ・ 観光資源がない ・ 利便性 ・ 車で来た人にとっては不便 ●その他 ・ ポラリスの活用(販売が可能なら良い)
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿	●交流 ・ まちの雰囲気をつくる交流の場がある ・ 出会いの街に ・ 商業地域に住宅を建てて欲しくない ・ 駅からランドマーク的なものをつくる ・ 引っ越ししてきた人との結びつき ・ 人間の交流を図ること ・ ベッドタウンにならない ・ 乗換駅で人が金を落とさない ・ ビジネスマン・外国人・子ども・高齢者が街に繰り出す ●まちの活気 ・ 商店会の活気をつくる ・ 何かがある、誰かがいる ・ 歴史を重んじる街づくり ・ 自治体に参加する者が増える ・ PR がすみずみまで(子どもから高齢者まで)
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	—

ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたいこと (要望)	—
---	----------

(2) 中部意見交換会

【中部地域の特性を踏まえた取りまとめ】



【Aチーム】

テーマ	意見
事業・商店街でうまくいっていること	・ 商店街振興 阿波踊り 47 年続けている ・ 阿波踊り 多くの人が来る ・ 新橋通り商店街 楽友会という若手の集まり ・ 銀行支店が多い ・ マンションが多い ・ 人材募集の効果 ・ SDGs 関連のアピール ・ 商店街のお店を利用 ・ アウトソーシング事業(デジタル化)
困っていることや解決しなければいけないこと	・ 大和駅南北への行き来が困難 ・ 資金不足ビジコン ・ 人材不足・人材教育←手間がかかる・採用しても育成が課題 ・ 事業所減少 ・ 市への意見が伝わらない ・ 店主の高齢化 ・ 後継者不足 ・ 商店街会員数減少 ・ 空き店舗対策 ・ チェーン店で商店街に加入しない ・ 商店会への理解不足
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿	・ 5 年後も 10 年後も阿波踊り継続 ・ 商店街維持 ・ 商店街事業の継続 ・ 個店の集客力 UP ・ 市内商業の魅力アップ←市内で買い物しない、遊びに行くのも市外 ・ 店構成の変化 ・ 商店街を巻き込んだ事業の発展 ・ 商売繁盛 売上げアップ

	・ 街路灯 維持費の確保・防犯灯は味気ない
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	・ 商店街との交流 飲み会など ・ 仲間から仕事の紹介で商店街の店を知る→買い物へ ・ 阿波踊りの PR 活動・集客協力 ・ マンション一階には店舗を入れる ・ 地道に協力
ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたこと（要望）	・ 商店街事業者への補助金の交付 ・ 市外から人を呼ぶ発信 ・ 商店街ドットコムの実質→商議所支部も載せる ・ 個店の魅力を発信する ・ 治安維持

【Bチーム】

テーマ	意見
事業・商店街でうまくいっていること	・ 雇用 ・ 外国人レストラン ・ ベッドタウン 子どもの増加 ・ イベントにお客さんが戻ってきた ・ 集客 ・ 常連に支えられている ・ 平地であること
困っていることや解決しなければいけないこと	・ 事業承継 ・ 人出不足 ・ 後継者不足 ・ 8 駅分散化 ・ 世代ごとのメリットデメリット ・ 高齢化 ・ 商店会 飲み屋のみ ・ イベント開催時の人出不足 ・ 人口 ネット購入・イベントの人手やボランティア不足 ・ 上と下との交流
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿	・ 大規模な商店街の整備（参考：香川県、高山市） ・ 飲食業で、今ないもの：20 人以上が入れる店、高級店 ・ 商店街に人がにぎわう・集まる ・ にぎわいのある商店街 ・ イベントの街 大和(キャッチフレーズ) ・ 多種多様な業種の揃った魅力のある商店街 ・ 大和ネット商店会 ・ 新駅 東名 大和バス停 ・ 再開発
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	・ 子どもたちが大和を出ない 情報提供など ・ 20 代・30 代の活躍の場を作る ・ 個人で頑張れる機会をつくる・支援をする(規制緩和・金銭支援) ・ 外国人の活躍の可能性(～団地) ・ 幸福度が日本一に
ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたこと（要望）	・ 商店街支援 ・ 新駅(林の開拓) ・ 駐車場 ・ アマゾンの工場誘致 ・ 歩行者天国(週末のみ) ・ 世代間格差を埋める支援 ・ 市外からの情報(企業・人材など) 市内のみで行わない ・ 交流会(企業から 1 人出て市について考える機会と人の繋がり) ・ 空き店舗対策 ・ 商店街ネットワーク すべての商店会長の連絡調整機関
まとめ	・ テーマ：破壊と再生 ・ 背水の陣である。 ・ 上の世代と下の世代について交流が少ない ・ 人口増加・ベッドタウン→市外からの流入→雇用など地域にお金が… ・ 大企業がない→グランドホテル×・飲食店（高級）× ・ 土地が少ない→再開発・駐車場

	・ 商店街ネットワーク（すべての商店会長の事務調整機関） ・ 人口増 ネット購入、イベント時の人手不足、ボランティア不足、年代別、上と下の交流
--	--

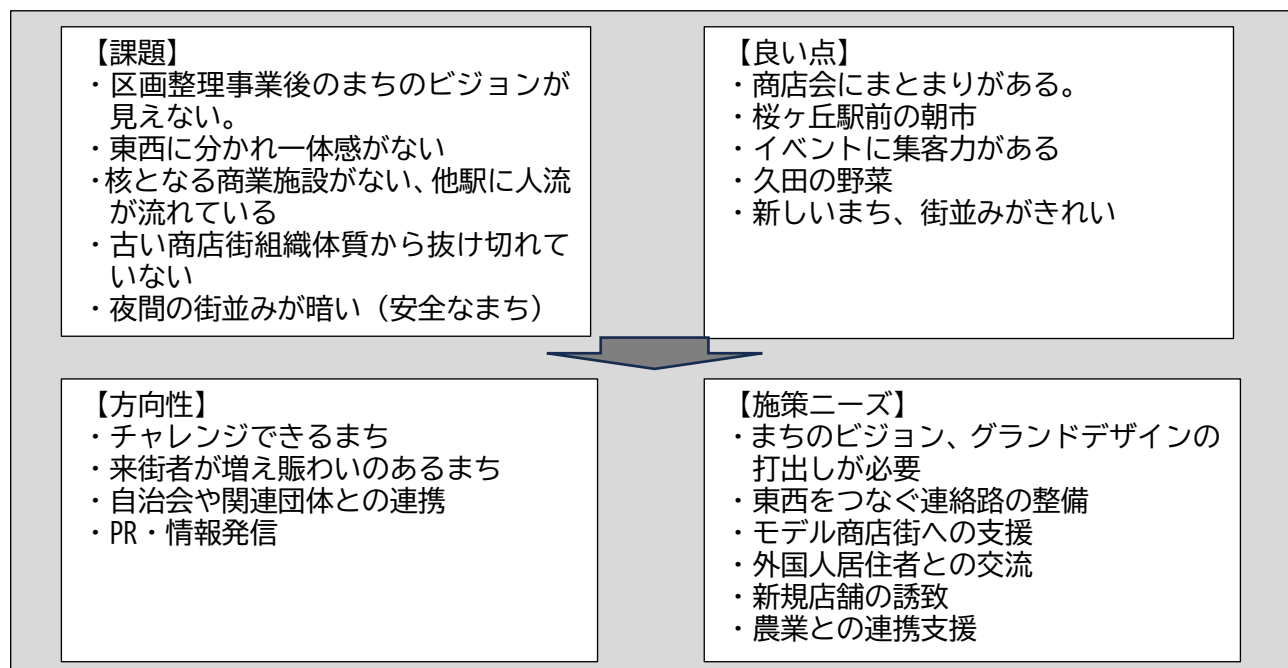
【Cチーム】

テーマ	意見
事業・商店街でうまく いっていること	・ 仲間意識 ・ 会社にして何をしたいか明確 ・ 文句が少ない(会社など) 気合いが通じる ・ 商店街では老若男女協力しあっている ・ 世代交代している→若い人もくる ・ 大和のポテンシャル ・ イベントが多い(市民祭り、阿波踊り) ・ イベントが強く出来れば・目玉になれば(花火) ・ 隠れた美味いラーメン屋が多い ・ シリウスは誇り 維持するためには？ ・ 市民祭りで 100 万円売り上げた ・ 市長が交代して市の対応が良くなった ・ 中部や南部はまだ余裕がある ・ SNS は何とかなる
困っていることや解決 しなければいけないこ と	・ 自分のことだけで目標がない ・ 気合が通じない ・ メンバーモチベーションの低下 ・ ビジョンの共有ー街のデザイン 会社はやっている ・ 空き店舗が多い ・ 店舗活用の補助事業があれば ・ 空き店舗を把握していない(隠れ空き店舗) ・ 駅が多いので3エリア程でイメージをつくる ・ メンバー減少 ・ 法人減 ・ CF・大型店により会員になれない ・ 人口増 ・ 自治会との連携をはかりたいが期待に答えられない ・ 広報が弱い ・ PR ボードを活用できていない ・ 消費者(市民)に PR ・ 広報やまと→高齢者向け 若い人は？ ・ 鶴間も何輪南林間も終わったまち？ ・ どう税収を増やすか ・ 地下が上がっている ・ 飲食店を出す魅力がない ・ 市がビジネスをする ・ 大和は楽しくない(周りが質高い) ・ 規制が多い ・ 日産に甘えていた 南林間 ・ 後継者が出るまで待てなかった ・ 若手は商店会に入らない ・ 市職員とのつながりがない ・ 若手がやりたいイベントができない
事業・商店街のありた い姿・なりたい姿	・ 川越が魅力的 ビジョン ・ 海もない何もない 例：長野県 阿智村 何もない星空 ・ 駅前の一等地 ビジネス・住みやすさ ・ かつてフィルム～に力を入れていたが

	・ 瀬谷にテーマパーク？ ・ 昔は企業が多かった ・ 茅ヶ崎とは雰囲気が違う ・ イベントを各地で ・ 他市の成功例を真似する
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	・ 市と地元が対等に 一緒にやる ・ 市に頼らなくても自分でできること
ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたこと（要望）	・ 市の職員に元気な人がいる 市内団体とつなげてほしい →移動を繰り返すことが普通になっている ・ 市と地元が対等に 繋げるのは市 一緒にやる ・ 商工会議所青年部・JC ・ 場所が欲しい ・ 規制をゆるく ・ 若手がやりたいイベントができるように

(3) 南部地域意見交換会

【南部地域の特性を踏まえたまとめ】



【Aチーム】

テーマ	意見
事業・商店街でうまくいっていること	・ つながりまとまりがある ・ つながり・まじわり・交流が大切 ・ 道路等の安全が良くなった ・ 商店会総員のまとまりが良い ・ イベントは行っていきたい 桜ヶ丘は未来がある ・ 商売を通して地元の人との交流 ・ 朝市をしている体制づくりが必要 ・ にぎわいがある ・ 商工会の朝市 ・ イベント開催の際は想定以上に地域の子ども達に来てくれる ・ イベントには予想よりも人が来る ・ 活性化の一つとしてイベントは良い
困っていることや解決しなければいけないこと	●まちのビジョンが見えない ・ 区画整理における話合いが長かった 実現が遅かった ・ ビジョンを共有しない ・ 東西の道がない ・ 市からの提案・ビジョンが出てこなかった ・ 区画整理完成後、商業が活性化せず、自分の計画が失敗した ・ 調整区域の摘発 ・ ～の明示・発表 ・ 区画整理に 30 年かかった ・ ビジョンが明確ではない現状がある ●店も住む人も変化 ・ 新規商店が少ない ・ イベントをする人も少ない→外部に頼らざるを得ない

	・ 土日は市内の人が市外に出てしまう(特に桜ヶ丘) ・ 前市長はシリウスに満足 シリウスに集まってしまう ・ 核となる商業施設がない ・ 他駅に分散 シリウスは他地域 ・ 朝一は集客・出店大変だけど盛り上がりはすごい←交わり・繋がりを求めている ・ 会員の高齢化 後継者不足 ・ 商店会として会員数が少ない ・ 商店街・商店会が「一つのことに対して」という想いが薄くなっている ・ 商店街が商店会ではない 昔のように繋がりがいい ●新しいチャレンジができない ・ 新しい意見を出してもなかなか通らない ・ 自治会との関係性 ・ モチベーション 下がる ・ 市も県も自治会がありき ・ 商店会が文言に入っていない ・ アイデンティティが潰される ・ 古いしがらみを外す必要がある
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿	●チャレンジできる街 ・ 過去の恒例を外す ・ 時代・世代の変化への対応 ・ 若者の意見を取り上げる ●人がくる・にぎわい ・ 東京の渋谷は大和の渋谷がルーツ ・ 鎌倉時代の領主渋谷～をテーマとしたまちづくり ・ 福田～9人衆を～活動 ・ 歴史を活かしたまちづくり ・ 個性あるまちづくり ・ 他にはない光る特色ある店の出店を促す ・ 便が良い ・ 毎月開催するぐらいのイベントを開催 ・ イベントに出店するメリットが明確になる ・ 魅力的な街へ ・ 安心して歩けるまち ・ 移動できる ・ 計画と実績の見える化 開放的に ・ 商店会や団体でこのような考える場を増やす ●協力体制 ・ 1つの商店会だけでなく、近くの自治会や団体との協力関係 ・ 行政による交流会・イベントの情報発信 ●その他 ・ 子ども達ににぎわう場所にしたい
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	・ 個店の事業の充実化 PR ・ お客様との絆、専門性を高める ・ 結果で示す ・ 成功例) 千本桜「子ども文化祭」→子どもアルバイト ・ たくさんの人たちとつながって協力して盛り上げていく ・ 周りの若手のモチベーションが低い 同士を増やしたい

ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたこと（要望）	・ 市や県は自治会だけに頼りすぎず、直接的に商店会や活動している団体を助ける制度 ・ 制約が多い 店は儲けるだけでない ・ 保健所に「商店会」やそれと同等の団体の固有名を記載する ・ 規約に入っていない 市民のためにやっているのに ・ 10 年先・20 年先へのビジョンを明示して、検討し、修正していく ・ 都市計画を周知徹底する ・ 情報の見える化・計画の実行 ・ 商店会のイベントの補助 ・ 手続きが煩雑 ・ 大きいイベントだけでなく、小さなイベントにも支援 ・ 気軽に小さいイベントをあちこちで ・ 大和市がとても良い町であると世界に PR ・ 学校 PR 自治会の後援
---	--

【Bチーム】

テーマ	意見
事業・商店街でうまくいっていること	・ 組織運営 ・ 役員の連携 ・ 存続の危機にはなっていない ・ イベントを開催しやすい環境 ・ 魅力のあるイベントの取組み ・ 桜ヶ丘駅前朝市 ・ 久田の野菜 地元飲食店での活用 ・ 地域の特性を活かす農家と商店をつなぐ ・ まちの魅力 ・ 街並みがきれい ・ 新しい街
困っていることや解決しなければいけないこと	・ 入会率の減少 ・ 商店会員の会員数が少ない 入会している店が少ない ・ 営業している店舗の人数が少数 ・ 会員の参加意識減少 ・ イベントの役員・ボランティア不足 ・ イベント開催の難しさ ・ 集客力 ・ 夜街並みが暗い ・ 廃業による連続性がなくなる
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿	・ にぎやかな街並 フラッグや飾りなど自由に付けられる ・ 人・車の動線を見直す ・ 高座渋谷駅をまたぐ連絡自由通路が必要 ・ 安心安全 ・ 条例を作る 商店会(商工会議所)の加入義務付け ・ イベントの努力 ・ とにかく個店を強くする→従来型のコンサルが必要かも ・ 人々が挨拶できるつながりのある街づくり ・ 活気 ・ 外国人居住者とのつながり ・ 活気ある人材を商店街に呼び込む→新たなテナント誘致の枠組み作り ・ 地域毎の特色探し→商店街の魅力に繋げる ・ 会員同士で各お店が高め合えるようなことができれば
事業・商店街のありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、自分達で取り組むこと	・ 魅力の向上 魅力店の誘致 ・ イベントに合わせて個店も工夫 ・ イベントができる会員数の限界 ・ よさこいとの連携 ・ バラバラの商店会を統一する支部 ・ 他の商店会との交流 ・ イベントの企画を立て実行する(支援機関もある) ・ とにかくコミュニケーションを大事にする(顧客・商店同士・周辺の農家・外国人など)
ありたい姿・なりたい姿の実現に向けて、市にやってもらいたいこと(要望)	・ モデル商店街→インフラも含め行政支援 ・ 手続きの簡略化 バックアップ ・ 市街化調整区域の見直し(県) ・ 飲食イベント 出店期間 ・ 地域性を活かす ・ 社会関係資本の充実